

「市川市新型インフルエンザ等対策行動計画改定案」についての
パブリックコメント実施結果

市川市 危機管理室 危機管理課

○実施期間

令和8年6月8日(月)～令和8年7月7日(火) 30日間

○ご意見を提出していただいた方の人数及び件数

意見媒体	人数	件数
①インターネット	5人	11件
②ファクシミリ	0人	0件
③危機管理課への提出	0人	0件
④その他公表場所への提出	0人	0件
⑤郵送	0人	0件
⑥その他	0人	0件

○ご意見への対応

対応内容	件数
①ご意見を踏まえ、修正するもの	1件
②今後の計画策定の参考とするもの	10件
③ご意見の趣旨や内容について、考え方を既に盛り込み済みであるもの	0件
④その他(素案そのものに対するご意見でないもの等)	0件

○ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方	ご意見への対応
1	インフルエンザのワクチンを受けやすいように、受診券の配布を希望します。	ワクチン受診券の配布については、今後の感染症対策において検討させていただきます。	②
2	マスクを推進する企業や施設に補助を行い、市で対策施設を紹介される。感染対策への環境整備と手指衛生が基本なので、普段からの体力増進も、重症化の予防になるので、イチコ、アルコとの連携も検討してほしい。	対策施設の紹介や感染症予防対策に関するイチコ、アルコとの連携については、今後の施策の参考とさせていただきます。	②

3	感染症まん延などになった際の独居罹患患者・高齢者の在宅治療支援のため、毎日の病状把握の為にスマホアプリ開発、その見守り要員(部署)が直ぐに稼働できるように予め対応システムを策定、外出を減らす為の宅配飲食物セット(1週間分の水とレトルト食品など)の安価な販売、既存のスーパーやコンビニ等の宅配システムとの連携契約。市川市が価格を安く抑える市川市の対応を通常の広報ルート以外に、病院での患者向け周知を強化。口頭による説明を義務付ける。	高齢者、障がい者等の要配慮者への支援における具体的な施策については、今後の計画策定への参考とさせていただきます。	②
4	学級閉鎖の基準を変えた方がいいのではないかと。何人も同時に休んでいるけれど、学級閉鎖の基準人数にはあと一人たりないから、閉鎖にはならない事もありました。ただそのあとにどんどん増えて学級閉鎖になることもあったので、臨機応変に対応した方がいいと思いました。	学級閉鎖の基準に関する具体的な対応については、今後の施策の参考とさせていただきます。	②
5	高齢者だけでなく子どももワクチンを助成してほしい。	助成の対象者については、今後の施策の参考とさせていただきます。	②
6	「第2章-2-(1)-イ 初発の感染事例の探知能力の向上と迅速な初動の体制整備」について(5ページ) 適切な検査法の選択と医療機関の診断による初発の探知能力と内容を修正。	初発の探知能力の具体的方策については、今後の新型インフルエンザ対策の参考とさせていただきます。	②

7	「第2章-2-(2)-オ 市民等の理解や協力を得るための情報提供・共有」について(6ページ) 市民にとって感染対策の基本として自然免疫力を確保できる日常生活が最も重要である。市民に対する免疫力向上・健康維持のための食や運動等の生活指導をきめ細かく行い啓蒙すると加筆。	感染症対策の具体的な内容については、今後の施策の参考とさせていただきます。	②
8	「第2章-3-(4) 医療機関の役割」について(10ページ) 感染症医療の提供体制とは、適切な感染診断のための検査手段の確保、適切な治療薬、治療法の確保及び必要な場合の隔離等であると追記。	ご意見については、医療措置協定の内容についての参考とさせていただきます。	②
9	「第2章-3-(9) 個人」について(11ページ) 基本的感染対策の例に免疫力確保のための日常健康管理を追加。	ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 第2章-3-(9) 個人 平時から、新型インフルエンザ等に関する情報や発生時にとるべき行動等その対策に関する知識を得るとともに、基本的感染対策(換気、マスク着用等の咳エチケット、手洗い、人混みを避ける、日常の健康管理)等の個人レベルでの感染対策を実践するよう努める。以下略	①
10	<新型インフルエンザ等対策事務分掌>について(17ページ) 保健部の所掌事務を市民に対する情報提供及び免疫力向上の自己健康管理等の啓発にすることと修正。	関係する様々な事柄を周知啓発してまいります。ご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。	②
11	「第2章-4-(1)-④ ワクチン」について(23ページ) 新たな知見をワクチン接種の有効性と有害な副作用の可能性など先の新型コロナ時等の経験を踏まえ国内外で得られた新たな知見と修正。	今後も様々な感染症が発生し、知見が増えていくものと想定されますので、新たな知見の具体的内容については、今後の新型インフルエンザ等対策運用の参考とさせていただきます。	②